

ふるさと教育 取組事例

学校名	大田市立北三瓶小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習 の時間・社会科	北三瓶のみりよく発見！ 三瓶大好き学	オキナグサ、ワサビ田、アスパラガス、青少年交流の家 サヒメル、大田の自然を守る会、地域の方
ねらい	自分たちが住んでいる北三瓶地区について、調べたり、人に聞いたりする活動を通して、地域のよさを見つけ、自分たちにできることを考え実践していく態度を育てる。		
<p>1 取組の概要</p> <p>オキナグサの保護活動、お米学習、ワサビ田の見学、アスパラ農家の見学から、水が様々なものに関係していることに気づき、“三瓶の水がなぜきれいなのか”という疑問を抱いた。そこで本で調べたり、交流の家やサヒメルで学習をしたりした。交流の家での森林学習では、森林の役割や働きについて学び、木材を使った制作活動を行った。サヒメルでは、学芸員の方と土や葉っぱ、生き物の観察、水が流れる実験等を通して三瓶の水について考えた。そして、学習したことや自分たちにできることを考え、文化祭で全校や地域の方に発信した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">      </div> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>総合的な学習の時間を1学期は『北三瓶のみりよく発見!』, 2・3学期は『三瓶大好き学』, 年間を通して『オキナグサを守ろうプロジェクト』として、地域へ出かけ地域の方の話を聞いたり、一緒に活動したりすることを通して、ふるさとを知り、大切にすることを育てる態度や愛情を育むことを考えた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>本やパソコンを使って調べる、見学先で質問をしたりメモをとったりする、学習したことをまとめ発表する等、課題を解決する力や、コミュニケーション力を育むことをねらって地域資源を活用した。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>三瓶の自然を守り育てておられる方の存在を知り、感謝の気持ちを抱いた。そして、自分たちも三瓶の自然を守りたいという意欲が高まり、ふるさとへの愛着をもつことができた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>課題を見つける力、学習したことをまとめる力、人に伝える表現力を伸ばすことができた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>各教科との相互関係を捉え、教科横断的な視点、カリキュラム・マネジメントの観点から各学年のふるさと教育を考えることや、学校運営協議会との連携等、小学校教育のスタートから中学校教育のゴールまでを見据えた教育活動が展開できるようにしたい。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)